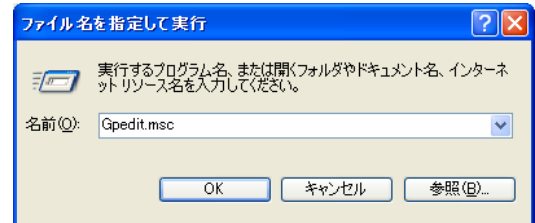
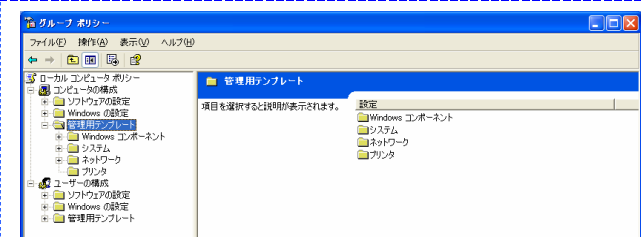


Windows Server 2003、Windows XP Professional、および Windows 2001でグループ ポリシー設定を使用してすべての自動実行機能を無効にする方法

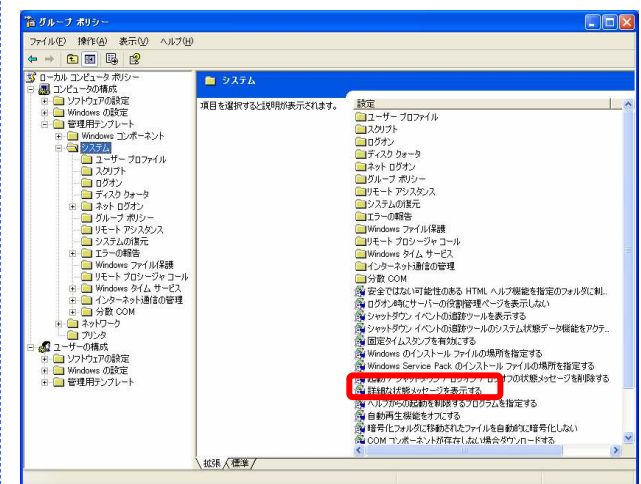
1. [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。[名前] ボックスに「Gpedit.msc」と入力し、[OK] をクリックします。



2. [コンピューターの構成] の [管理用テンプレート] を展開し、[システム] をクリックします。

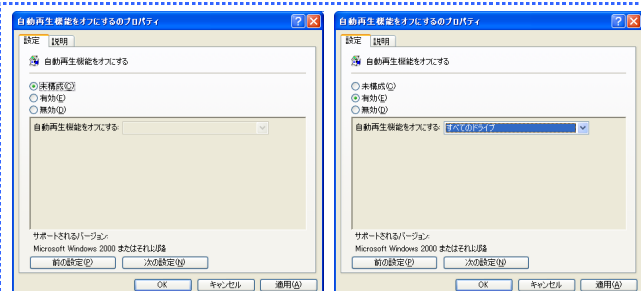


3. 設定ウィンドウで、[自動再生機能をオフにする] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



注：Windows 2000 では、ポリシー設定の名前は [自動再生機能を無効にする] です。

4. [有効] をクリックし、[自動再生機能をオフにする] ボックスの [すべてのドライブ] を選択し、すべてのドライブで自動実行を無効にします。



5. [OK] をクリックして、[自動再生機能をオフにするのプロパティ] ダイアログ ボックスを閉じます。

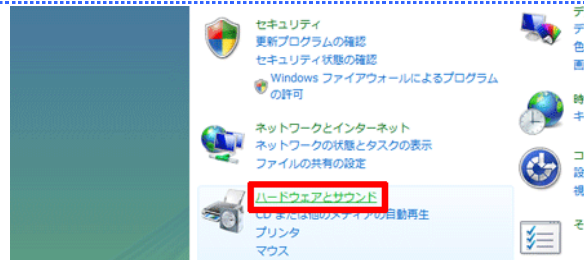
6. コンピューターを再起動します。

Windows Server 2008 または Windows Vista でグループ ポリシー設定を使用してすべての自動実行機能を無効にする方法

1. [スタート] ボタンをクリックし、[検索の開始] ボックスに「Gpedit.msc」と入力し、Enter キーを押します。



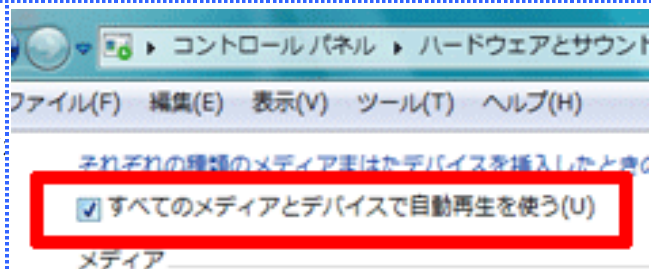
管理者のパスワードを要求するダイアログ ボックスが表示された場合はパスワードを入力して [OK] をクリックし、確認を要求するダイアログ ボックスが表示された場合は [続行] をクリックします。



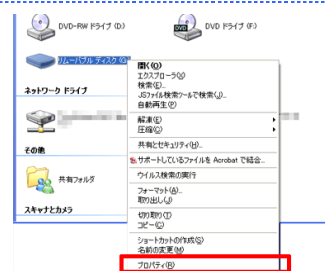
2. [コンピューターの構成]、[管理用テンプレート]、[Windows] コンポーネント] を順に展開し、[自動再生のポリシー] をクリックします。



3. 詳細ウィンドウ領域で、[自動再生機能をオフ]



4. [有効] をクリックし、[自動再生機能をオフにする] ボックスの[すべてのドライブ] を選択し、すべてのドライブで自動実行を無効にします。



5. コンピューターを再起動します。

